

青森県

は ち の へ し 八 戸 市

開かれた社会を目指して ～多文化共生の地域づくり～



八戸市男女参画国際課

八戸市の概要

八戸市は、一九二九年、藩制時代の城下町、八戸町をはじめとする三町一村が合併し、人口約五万二〇〇〇人の市として誕生しました。その後、近隣町村との合併を経て、今では、青森県南から岩手県北にまたがる商圏の形成、全国屈指の水揚げ高を誇る漁港、北東北随一の工業集積、三つ（東南アジア、中国・韓国、北米）の国際コンテナ定期航路を有する国際貿易港など、人口約二十五万人の北東北有数の産業都市に成長してきました。

また、八戸港は、一九九五年に、姉妹都市アメリカ・フェデラルウェイ市に隣接しているタコマ港と経済貿易協定を（二〇〇五年に「新経済貿易協定」を締結）、また、二〇〇〇年には、フィリピン・マニラ港と姉妹港を締結し、海外との経済交流を積極的に進めています。

当市は、三陸海岸北端に当たる種差海岸やウミネコの繁殖地蕪島、縄文時代の出土品で有名な是川遺跡、八戸三社大祭や八戸えんぶりに代表される伝統的行事など、自然・歴史・文化の面で豊富な資源を有しており、特に、二〇〇二年の東北新幹線盛岡・八戸間開業以降は、首都圏と約三時間で結ばれ、多くの観光客を魅了しています。



↑八戸三社大祭

姉妹・友好都市交流

八戸市は、現在、姉妹都市アメリカ・ワシントン州フェデラルウェイ市、友好都市中国甘肅省蘭州市、ニューカレドニアとの行政間の相互訪問、青少年派遣や視察団の受入れなどの交流を重ねています。また、最近は、民間団体の海外との交流も多く、市民レベルでの交流が活発に行われています。

●アメリカ・ワシントン州 フェデラルウェイ市

カナダ国境に接するアメリカ西海岸のワシントン州に位置する、人口約八万六〇〇〇人のまちで、フェデラルウェイ（連邦道路）の名称が意味するとおり、シアトルとタコマをつなぐ道路など主要な地方道路が通っているなど、交通の便に恵まれ、また、近年では、国際輸出入業務に力を入れるなど、ワシントン州の中でも成長著しい都市として注目されています。八戸商工会議所と以前から交流があったフェデラルウェイ市と隣接のタコマ・ピアース郡商業会議所を通じて、タコマ市長から紹介を受け、一九九五年八月一日に姉妹都市提携を行いました。両市民の交流のほか、特に姉



↑フェデラルウェイ市長一行と八戸市長

妹都市提携以来、市内の中学生をほぼ毎年フェラルウェイ市に派遣しており、二〇〇七年六月に、市内中学生二三人が、現地の中学校で授業体験やホームステイをするなど異なる文化を肌で感じる貴重な体験をしています。

また、二〇〇二年と二〇〇五年には、フェラルウェイ市高校生選抜チームを迎えて、地元高校生チームと野球親善試合を実施、教育・文化・スポーツを中心にした交流を行っています。

●中国・甘肅省蘭州市

中国甘肅省の省都である蘭州市は、人口約三二〇万人で、西安を起点とするシルクロード上の交通の要衝として栄えてきました。中国最大級の石油埋蔵量があり、石油精製、石油化学、鉄鋼などの工業都市として発展しています。一九八三年一〇月に、第四次八戸市各界友好訪中団による蘭州市の訪問をきっかけに、民間会社による都市ガスタ技術協力、青少年交流、視察団受入が始まり、一九九八年四月一日に友好交流協議書を締結しました。以来、視察団・青少年などの相互派遣を続け、二〇〇三年には、友好



↑蘭州市青少年友好交流団

交流二〇周年を記念し、蘭州市において、これまでの交流の紹介や両市青少年などによる書道・絵画作品などの成果展覧会が開催されたほか、さまざまな祝賀行事が行われました。今年で、友好交流二五周年を迎えますが、現在、これまでの親善交流を基礎に、今後、どのような交流を展開していくか検討をしています。

八戸国際交流協会

八戸国際交流協会は、地域の国際化を進めることを目的に、一九九六年二月に設立されました。現在、当市における国際交流推進の中核的組織として、市民ボランティアの多数参加のもとに、市民と外国人との交流や各種の情報提供・在住外国人の支援などを積極的にを行っています。二〇〇七年二月末現在の会員数は、二六九人、六五団体となっています。

●外国人との交流や異文化理解のためのイベントとして、ハロウィーンツアールやポットラックパーティーなどを開催したり、在住外国人を対象とした日本語講座、さらには市民を対象とした中国語・韓国語などの外国語講座を開催しています。

●在住外国人を支援する事業として、英語・中国語の二カ国語でごみの出し方や災害に関する情報など日本での生活に役立つ情報の提供や外国語対応の相談窓口を開設し、外国人が生活しやすい環境づくりを進めています。

●通訳ガイド支援事業として、米軍三沢基地の新規赴任者などを対象とした八戸市内ツアーにボランティアガイドの派遣や、八戸三社大祭期間中の外国人観光客に対する英語でのガイドなどを行っています。

開かれた社会を目指して

八戸市の外国人登録者数は、三〇カ国八二九人（二〇〇七年二月末現在）で、市の総人口のうち外国人登録者数が占める割合は、〇・三四%となっています。国籍別では、中国二九三人、韓国二四九人、フィリピン一四六人、アメリカ三一人の順となっており、アジア諸国出身者が多数を占めています。

当市でも、近年のグローバル化の進展を背景に、企業における外国人研修生が増加するなど今後ますます外国人の定住化が予想され、外国人が暮らしやすい環境づくりが課題となってきました。そのためにも、市や八戸国際交流協会が主体となって実施するさまざまな国際交流事業を通じて、市民の外国文化に対する理解を一層深めていくことが大切であると考えています。外国人が安心・安全に暮らすことができる開かれた社会を目指して、単なる交流から多文化共生の地域づくりを進めています。



↑米軍基地新規赴任者八戸ツアー